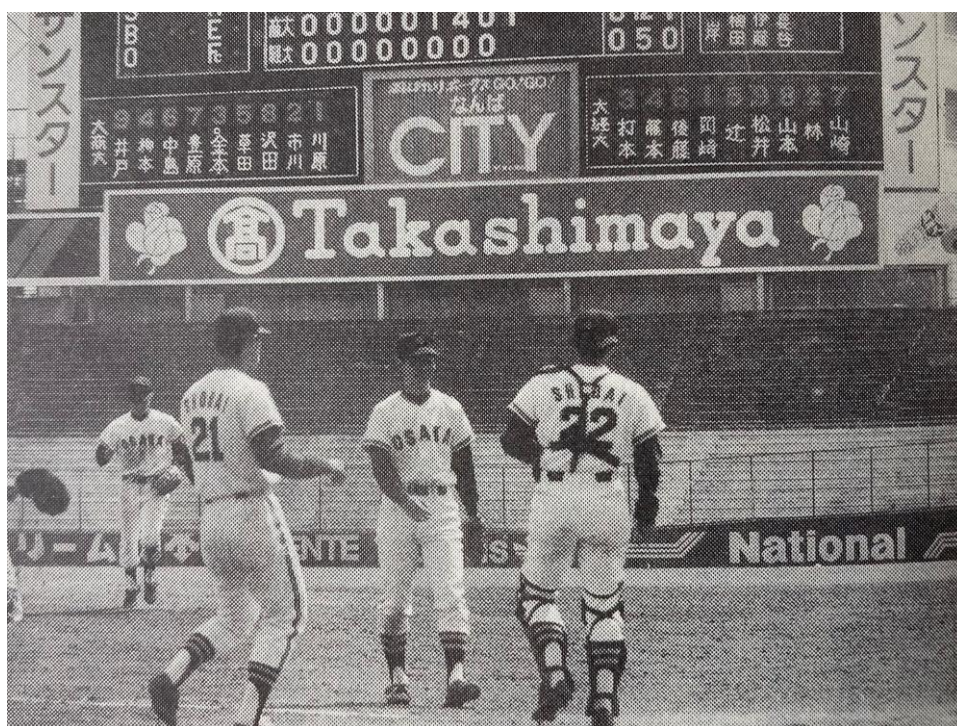




40 年前の開幕戦

1982 年春、新体制となって初めてのリーグ戦は大阪商業大学-大阪経済大学の対戦でスタートした。

5 回までは互いに無得点、緊迫した展開が続く中で大阪商業大学が 6 回に 1 点を先制。7 回にはビッグイニングを作って優位を拡大し 9 回にダメ押しの 1 点を奪う。

6 点リードの最終回、勝利目前のマウンドには浮き上がるストレートを武器とするアンダー・スロー投手、川原新治(当時 3 年・太成)が上がった。

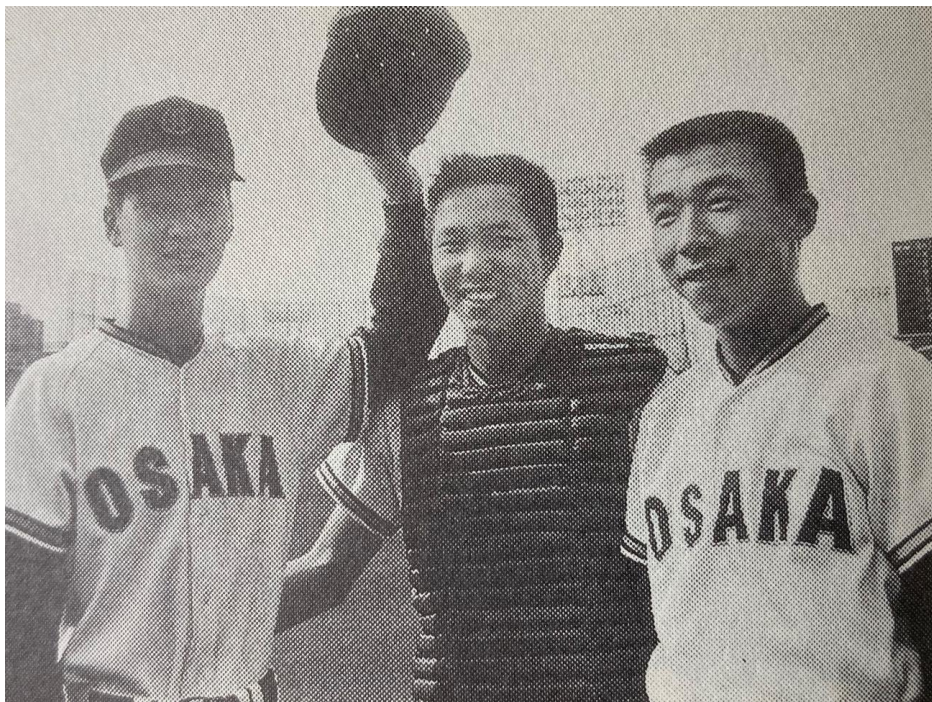
「監督からは『10 勝するぞ』と言われてましたし、負けたらあかんというプレッシャーはありましたね」。大役を任された川原は 1 回をきっちり無安打無失点、例年以上の注目を集めたオープンニングゲームを締めくくった。

好スタートを切ったチームはその後も順調に白星を重ね 10 勝 2 敗 1 分で勝率.833、勝ち点 5 の完全優勝で初代王者に輝いた。エースとして活躍した川原は最優秀選手賞、最優秀投手賞、ベストナインの 3 冠を受賞した。

部員数 100 人を超える大所帯の中で 1 年時からメンバー入り、実力の高さはすでに知られていたがそれでもこのシーズンの活躍ぶりは凄まじかった。3 年春から秋にかけて 77 回 2/3 連続無失点、7 試合連続完封を記録した。これらは未だに破られていない連盟記録として残っている。

「投げていって段々成長していったなというのはあります。(連続完封が)3 試合、4 試合になってから自分でも凄いなと思いました」。連続完封 5 試合目の大阪学院大学戦は延長 13 回、6 試合目の京都産業大学戦は延長 15 回を 1 人で投げ抜いた。自慢のストレートにカーブとシンカーを織り混ぜ、制球力も抜群。他連盟の優勝校の打者も次々と打ち取り選手権大会ではベスト 4 入り、秋の神宮大会では準優勝を果たした。

4 年秋には関西六大学野球連盟初となるノーヒットノーランを達成(旧関六を含めれば 3 人目)。ドラフトでは阪神から 4 位指名を受け、2 本柱を形成した好左腕・清川栄治(京都商業)写真右端(川原 左端)と共にプロの世界へ進んだ。



現役引退後は 2008 年まで阪神の打撃投手として腕を振り、母校の太成高校ではコーチとして指導した。そして今年、数多くの後輩の成長を守ってきたサブマリンが 40 周年記念春季リーグ戦の開幕試合で始球式を務める。今度は抑えではなくまっさらなマウンドで、腕の位置は下手から上手に変わっても野球人としての心は変わらない。

「感謝の気持ちを忘れずにやってほしいですね。自分 1 人では出来ないし、感謝の気持ちを忘れずに一生懸命頑張ってもらいたいです」。現役選手への激励を込めて、新関六の礎を築いた右腕が再び開幕戦のマウンドに上がる。



プロフィール

川原新治

かわはら しんじ

1962年2月5日生まれ。大阪府出身。右投右打。太成高校―大阪商業大学―阪神タイガース。大学3年春から秋にかけて77回2/3連続無失点、7試合連続完封を記録。4年秋にはリーグ再編後初となるノーヒットノーランを達成した。リーグ戦通算23勝は歴代15位。

参考出典：関西六大学野球連盟20周年記念誌・大阪商業大学「球道一筋」